



ふじみ

マーク：福田 常雄 氏

第168号

令和3年10月1日

発行人 社会福祉法人みちのく協会
責任者 理事長 工藤 和子
施設 特別養護老人ホーム富士見荘
ケアハウスアーベイン八幡平
松尾デイサービスセンター
介護相談所陽だまり
(富士見荘指定訪問介護事業所 富士見荘指定居宅介護支援事業所)
地域密着型介護老人福祉施設はらからの里

岩手県八幡平市松尾寄木第11地割13番地1
電話 0195(78)2455(代) FAX 0195(78)2467
E-mail info@michinoku.or.jp
URL https://michinoku.or.jp

「あともう少し」

社会福祉法人みちのく協会
理事長 工藤 和子

今年も暑かった夏が過ぎ、肌寒さを感じる季節を迎えています。中秋の名月は満月にあたり、とても美しく輝いています。自然の営みは、時には脅威となりますが、時には、感動を与えてくれます。さて、昨年と同誌十月号に「特効薬ができるまで」というタイトルで、ご入居者様、ご家族様には「面会規制」をお願いし、職員には私生活も含めた行動自粛を要請しました。そして、一日も早い「特効薬」の開発を祈念すると書かせていただきましたが、あれから、ちょうど一年が経ちました。特効薬とはいきませんが、抗体を創って感染しても重症化しないワクチンの接種が、ご入居者様と施設職員（法人全体の職員も接種）まで進み、施設内においてコロナウイルスの感染が起こる前に集団免疫を獲得することが出来ています。これもひとえに、ご家族様のご理解とご協力があったからこそ成し得たものであり、心より深く感謝いたしております。

過日、ささやかではありますが富士見荘の敬老会を行い、職員と共にお祝いし

ました。ご入居の皆様の中には、新型コロナウイルスが何者なのかもわからずに過ごされている方も少なくありません。コロナ禍にありながら、いつもと変わらぬ日々を感謝して過ごす姿を見て、改めて生きる強さを感じました。

ものすごい感染力で猛威を振るった「第五波」が収まりつつあります。ワクチン接種の効果が実証されており、今後、緊急事態宣言等、行動を抑制するだけでなく、経済・社会活動の再開へ向けた社会実験等も行われていくとの報道もなされています。ワクチンの接種とPCR検査の陰性証明があれば、面会規制を解除できるのではないかと期待しています。あともう少し。もう少し辛抱すれば、前向きな新しい生活様式が見えて来ると思っております。



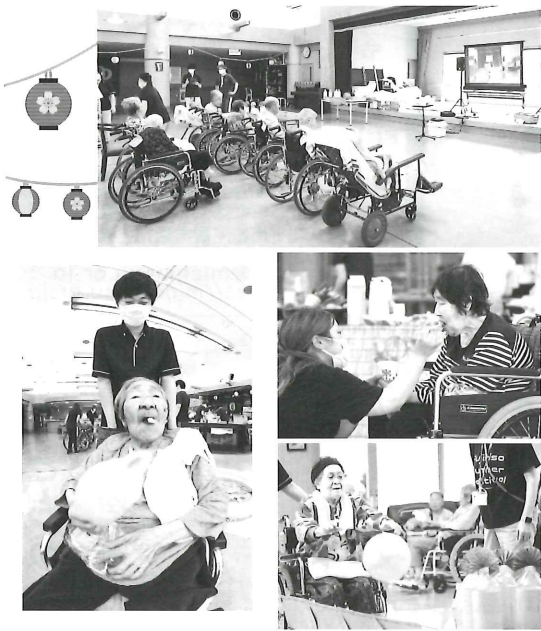
特別養護老人ホーム

富士見荘

☎(0195)
78-2455

ウィズコロナの夏祭り

八月五日、コロナ禍での二回目の「富士見荘夏祭り」を開催しました。ご入居者様だけの夏祭りなので、タイトなプログラムなどは一切なし。縁日風の屋台では、綿あめ、かき氷、大判焼き、たこ焼き、やきとりと盛りだくさん。ゲームは、射的に見立てた的当てボーリング。全てがご入居者様のペースでゆったりとした時間の夏祭りでした。それから、今年は柏台小学校の生徒さんが演舞する「八幡平太鼓」をDVDに収録していただき、録画ではありましたが、柏台小学校の生徒さんにもリモート出演していただきました。



アットホームな敬老会

九月十七日、今年も施設職員とご入居者様だけの敬老会となりましたが、肩ひじ張らずに普段と変わらぬ雰囲気の中、和やかにご長寿をお祝いしました。



地域密着型介護老人福祉施設

はらからの里

☎(0195) 68-7880

今年の夏は、早い時期に暑くなったかと思うとお盆過ぎには急に寒くなったりと不順でしたが、秋口に入り、紅葉の進み具合は例年より早いとのことであるべき冬への備えも急ぎ足でしなければならぬのかなと考えております。

はらからの里においては、いろいろな制約の中でも、少しでも入居者の皆様の無聊の慰みになればと思います、ささやかな行事などを行いましたので、ご報告させていただきます。

まず、七月の末には、近隣の保育園のおみこしパレードを見学しました。子供たちの元気な声に思わず笑みがこぼれるようなホッとする時間でした。八月中旬には納涼会と称し、入居者の方々に屋外で焼き肉とそうめんを味わっていただき、職員によるさんさ踊りを披露させていただきました。ほとんど室内ばかりでの生活ですので、外の空気を感じながらの食事は大変好評をいただきました。また、九月には敬老会を開催し、介護職員が自ら包丁を握って魚の解体ショーを皆様にご覧いただき、さばいた魚も含め、握りずしのおふるまいを行いました。



わっしょい!
わっしょい

さんさ踊り
最高!

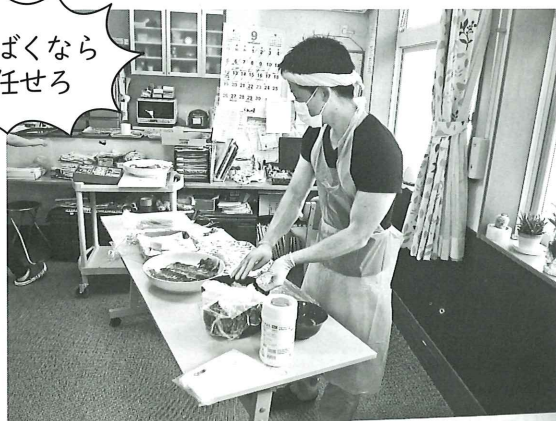


焼肉は
まだ〜



さあ、どんどん食べて
くださいね。

魚さばくなら
俺に任せろ



松屋デイサービスセンターだより

☎(0195) 78-3720

秋祭り

毎年行っている秋祭り。コロナ感染症の影響の為、行事の開催には限りがあり、余興等ができないのがとても残念。しかし、今年は秋祭りに向けて新しいゲームを準備しました。ターゲットゲーム(写真参照)は、投げるのが難しいかなと思いましたが、ワンバウンドでもうまくくっついて、高得点が続々と。玉入れも座ってできるタイプに変えてみました。お楽しみくじ引きでは参加者全員に様々な景品が当たりました。

そして、食欲の秋も忘れてはいません。昼食は秋の食べ物、栗や松茸などを使ったお弁当で、いつもより豪華な食事をして頂きました。おやつも日替わりで、たこ焼き、大判焼き、お好み焼き、チョコバナナなどお祭りらしいものを召し上がっていただきました。

利用者の皆様にも「あのゲーム、とても面白かったよ」「お腹いっぱい食べた」などたくさん感想をいただきました。



おやつ作り

今年も外出事はなかなか行つことができないので、昨年度も好評だったおやつ作りを行いました。今年のメニューは、日曜日はクレープ、月曜日・火曜日はサンデー、水曜日・木曜日は白玉あんみつ、金曜日・土曜日はお好み焼を企画。テーブルに分かれて作り、職員も一緒に楽しませて頂きました。週に複数回利用されている利用者様は様々なおやつを楽しめたのではないのでしょうか。普段食事が進まない利用者様も、目で見る楽しみも加わり、喜んで食べていました。これからも皆様のご意見を聞きながら、行事企画していきたいと思っております。ご意見お待ちしております。



ある日の出来事

「所長、裏に蜂の巣が……」職員の一声で、スプレー片手に所長出撃。中から見えていた職員が「所長、危ない！」蜂の活動時間にスプレーしたので、あら大変。まさに「ぶんぶんぶん蜂が飛ぶ」(お歌のように可愛い状況ではないですが……)大慌てで、所長と職員が中に戻ってきました。そんな蜂の巣は翌朝、蜂の巣駆除プロの職員に依頼し、駆除してもらいましたが、去年も蜂の巣の話題があったような……。

皆様、蜂の巣を見かけたら、まずは落ちついて、刺されないように気を付けましょうね。



退治された蜂の巣



リゾート型ケアハウス

アーベイン八幡平

(0195)
78-2710

「非常事態に備えて」

ケアハウスアーベイン八幡平
施設長 田代貴典

二〇一一年三月一日の東日本大震災から、今年三月で一〇年が経過しました。その間にも、地震や台風などの自然災害が日本で猛威を振るい大きな被害を与えてきました。このような自然災害に備えて普段から避難訓練や備蓄品のチェック等を行っています。災害などの非常事態に直面してしまった場合を想定したBCP(事業継続計画)の策定に着手しているところです。このBCPとは企業が自然災害やテロ、システム障害などの緊急事態に遭遇した場合において損害を最小限に留め、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために平常時の活動、緊急時の活動を取り決めておく計画です。

防災対策と似ていますが、防災が災害を対策するのに対して、BCPは災害、感染症などを含めたあらゆるリスクに備える点で異なります。

このような計画を作ること、災害などに見舞われた際に地域住民の皆さんは安心して福祉サービスを利用し、職員は安心して働くことに繋がっていくと考えています。

「自粛生活」



新型コロナウイルス発生に伴い、自粛生活を余儀なくされておりますが、アーベイン八幡平においても、外出行事や送迎サービスに影響が出ております。

その中でも、日常の買い物(生活必需品)については、職員自身も買い物に行っているため、中止することはせず時間を短縮して継続して送迎サービスを実施しております。

アーベイン八幡平は、五十名定員のケアハウスであるため、集団生活であるということも事実ではあります。岩手県独自の緊急事態宣言の際は、面会も初めて止めさせていただきました。現在は緊急事態宣言が解除されたため、衝立越しではありますが、施設内にて「十分以内・二名以下・飲食なし」ということで、面会いただいております。今後は、コロナウイルス発生状況に応じて、ドライブ行事等についても徐々に増やしていければと思っております。

今後の課題としては、「高齢者だから」「施設入居者だから」という概念は、できるだけ払拭していくことも重要になってくるのではないのでしょうか。

秋の味覚

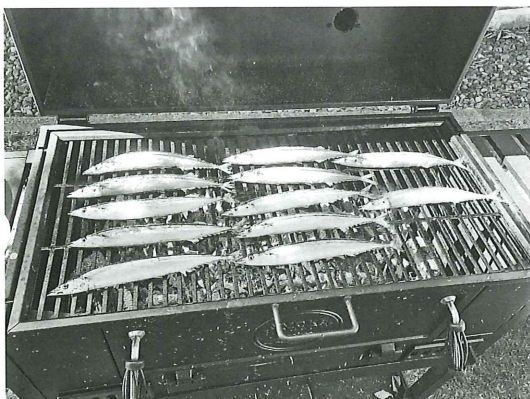
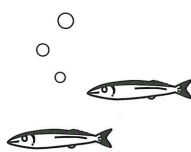
コロナの話ばかりでは、つまらないので今度は秋の味覚、この時期になるとテレビや新聞で報じられますが、やっぱり気になってしまつ「マツタケ」と「サンマ」です。

「マツタケ」については、市内の方から採ってきていただいております。定番のマツタケご飯、それに吸い物がついたら最高です。



本年度のマツタケ

サンマについては、炭火で焼き上げることにより風味よくいただくことができます。



大型グリルで炭火焼きのサンマ

愛

筆 法

題字 関口作治氏

社会福祉法人 みちのく協会 基本理念

社会福祉法人みちのく協会の基本理念は「愛と献身」です。利用者一人ひとりの気持ちを大切にし、心をこめた介護をいたします。

みちのく協会法人の動き

7	1	移動売店
	7	ワクチン接種 (2回目)
8	5	富士見荘夏祭り
	17	盆供養
	31	職員勉強会 (看取り)
9	17	富士見荘敬老会
	22	秋彼岸供養

富士見荘利用者状況

(令和 3 年 9 月 25 日現在)

市 町 村	男	女	計
八 幡 平 市	13	51	64
岩 手 町	0	3	3
その他市町村	0	6	6
合 計	13	60	73

富士見荘入退居者状況

入居者	7月	0	(0)	退居者	1	(1)
	8月	2	(0)		1	(1)
	9月	0	(0)		2	(2)

※入居 () 内は再入居。退居 () 内は死亡
※令和 3 年 9 月 25 日現在のもの

富士見荘短期入所生活介護

市 町 村	7月	8月	9月
八幡平市	242	217	195
他市町村	0	0	0
合 計	242	217	195

配食サービス

人数	月	7月	8月	9月
利用者数		179	186	208

編集後記

コロナ禍をおしてオリンピック・パラリンピックが開催されました。自国開催ということ、パラリンピックの様々な競技を実際に生で観た時、人間ってすごいなあ。と感嘆しました。健常者が出来ないことをやっている特別な人たちでした。福祉に携わる者として、障がいを持つている人もそうでない人も、人の手を借りずに(最小限の手助けで)自分の意志で自由に行動できるバリアフリーの世の中に変えて行かなければならない責務があると感じました。



綿帽子ユニットの生け花

今年の敬老会も昨年に引き続き、生け花の先生に来ていただいて、9つのユニットに9つの違った生け花を創っていただき、飾り付けました。